

# GFANZ APAC/Japanとの連携

GFANZ NZTPワークショップシリーズ

森下麻衣子

IGES ファイナンスタスクフォース プログラムマネージャー  
Climate Bonds Initiative Japan Programme Manager 兼務

2023年12月20日（水）



# IGES 1.5°Cロードマップ

日本の排出削減目標の野心度引き上げと豊かな社会を両立するためのアクションプラン



[IGES 1.5°Cロードマップ:](#)  
[日本の排出削減目標の野心度引き上げと](#)  
[豊かな社会を両立するためのアクションプラン](#)  
[テクニカル・レポート&サマリー](#)  
(IGES 2023年12月)

パリ協定の1.5°C目標達成へ向けて取り組みの強化が求められる中、日本にとってより野心的かつ現時点で達成可能な排出削減レベルを検討し、同時にビジネスや社会にプラスの効果をもたらすためのアクションプランを時系列で提示

## キーメッセージ

1. デジタル化をはじめとする社会経済変化がもたらすエネルギー消費量の抑制とそのインパクト
2. 再生可能エネルギーの普及と電化の促進でエネルギー自給率90%の達成が可能に
3. 鍵は社会的課題の解決やウェルビーイングの向上を含めた統合的視点での政策の構築

## 目次

- |     |  |
|-----|--|
| 第1章 | 本レポートの目的                               |
| 第2章 | 1.5°C ロードマップの策定方法                      |
| 第3章 | エネルギー需要はどこまで変わるか                       |
| 第4章 | エネルギー供給はどこまで変わるか                       |
| 第5章 | GHG排出量を早期に大幅削減し、低廉で自立したエネルギーシステムは実現するか |
| 第6章 | 1.5°C ロードマップ                           |

# IGES/Climate Bonds Initiative の取り組み

2022年9月、IGESはClimate Bonds InitiativeとMOU締結  
日本での活動における協力・連携について合意



(Climate Bonds Initiative 2023年10月)

GX：1.5°C目標へ向けて要となる要素の強化を  
1.5°Cに沿ったエネルギー転換と連携した民間セクターの行動

## 7つの提言

1. 確立された技術の優先
2. 完全な排出削減対策が講じられていない石炭火力発電廃止の年限の設定
3. ガス関連投資の適格性を厳格に制限
4. 低炭素水素・アンモニアの基準強化
5. 適切な炭素価格の確保
6. 企業によるトランジション計画の策定・開示の推進・強化
7. 大胆かつ厳格な1.5°C整合ソブリンGX債発行により投資家の信頼を構築

# IGES/Climate Bonds Initiative の取り組み

2022年9月、IGESはClimate Bonds InitiativeとMOU締結  
日本での活動における協力・連携について合意

## トランジション計画の 評価ガイドンス

2050年までにグローバルでネットゼロを達成するには、  
すべての産業と組織が脱炭素社会へと移行しなければな  
らない。

トランジション計画とは、期間を定めた追跡可能な戦略  
とロードマップであり、ネットゼロ実現のため科学的根  
拠に基づいた経路と整合した排出削減を目的としたマ  
イルストーンとアクションを示すものである。

Climate Bonds INITIATIVE

(Climate Bonds Initiative 2023年11月)

信頼できるトランジション計画の主要な特徴やフレームワークを概説したガイダンス

図1:トランジション計画に係るトリプルA(AAA)フレームワーク

